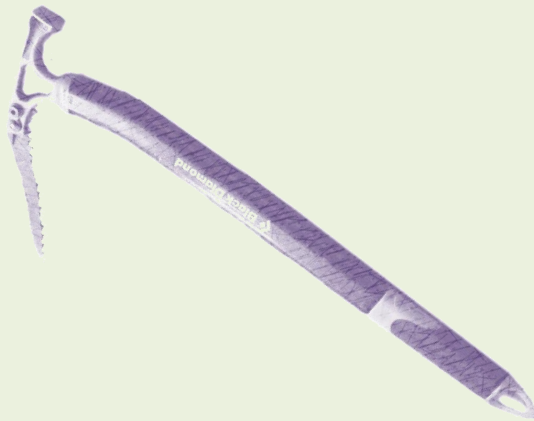


佐伯山の会

まど

finestra

331号



2017

2月

如月

■山行案内

- ・ 武田山＜広島南アルプス＞ 3
- ・ 安蔵寺山 3
- ・ 高岳北東尾根（県境稜線） 4
- ・ 泉水峠～大峰山～湯来温泉 4

■活動報告

- ・ 新年初詣・初日の出登山の宮島 5
- ・ 新年山行★極楽寺山 6
- ・ 北八ヶ岳のスノーハイキングを楽しむ 8
- ・ 八ヶ岳 横岳西壁★石尊稜 12

■新連載企画

- ・ 夢太流ダイエット術 VOL:1 14
- ・ 里山ロングトレイル紹介

泉水峠から大峰山を越えて湯来温泉に浸かる 15

●第10回運営委員会議事録 16

●バリエーション・岩トレ通信 17

●行事予定 18

山行 案内

3月例会山行

武田山<広島南アルプス>

【期日】 3月5日(日)

【集合場所】 下祇園駅(JR可部線)

【集合時間】 8時00分

【交通手段】 公共交通

【参加費用】 交通費各自

【行程】 下祇園駅(8:05) … 武田山登山口(8:40) … 武田山(9:30) … 火山…丸山
…大茶臼山(昼食)(13:30) … 柚木城山…鬼が城山…鈴ヶ峰(東峰)(17:00)
…JR新井口駅(遅くなる場合変更になるかも)

【装備】 日帰りハイキング装備 飲料水行動食多めに。昼食、雨具、ヘッドランプ

【地図】 1/25000 祇園 広島

【リーダー】

【申込先】

【申し込み期限】 2月28日

【山行の呼びかけ】 運動不足になっていませんか？体が重く感じてませんか？体力、脚力、大丈夫ですか？ロングトライアルで汗をかきましょう。

3月例会山行

安蔵寺山

【期 日】 3月20日(月)祝日

【集合場所】 宮内串戸駅

【集合時間】 7時

【交通手段】 自家用車

【参加費用】 会の規定による

【行 程】 JR宮内串戸駅(7:00) … 滑峠(9:00) … 香仙原山頂(10:30) … 赤土
山(11:00) … 安蔵寺山頂(12:30) … (13:15)下山開始 … 登山口着(14:45)

【地 図】 2万5千図安蔵寺山

【装 備】 雨具、地図、磁石、その他各自ハイキングに必要なもの。

【リーダー】

【申込み先】

【申込期限】 3月6日(月)

【山行の呼びかけ】 車2台以上の場合縦走予定です。初 CL です。皆さまの参加宜しくお願いいたします。

地域研究 ⑨

高岳北東尾根(県境稜線)

- 【期 日】 3月12日(日) 【山 域】 西中国山地
 【集合場所】 JR 宮内串戸駅前 【集合時間】 7時30分
 【交通手段】 自家用車 【参加費用】 会規定による
 【行 程】 宮内串戸駅(7:30)→やわたハイランド(9:00)→ピーク 911m(10:30)
 →ピーク 961m(11:20)→高岳山頂(昼食)(11:40~12:40)→湖岸道路分岐
 (13:55)→やわたハイランド(15:10)→筒賀温泉(15:40~16:40)→宮内串戸
 駅(17:40)
 【装 備】 スノーシュー又はワカン(必携)、雪山に適した服装、地図、磁石、昼
 食、非常食、雨具、防寒具、ヘッドランプ
 【地 図】 1/25,000 臥龍山 【リーダー】
 【申 込 先】 【申込期限】 2月28日(火)まで
 【山行の呼びかけ】 残雪の西中国山地の山域を存分に歩いてみませんか。やわたハ
 イランドのスキー場に駐車、191号線国道から稜線にアプローチ、尾根伝いに県境
 稜線を歩き高岳へ、山頂からは磁石を頼りに足跡なき斜面をピーク839m→ピー
 ク819mを経由し聖湖畔に下ってやわたハイランド191に戻りたいと計画し
 ています。

3月自主山行

泉水峠～大峰山～湯来温泉

- 【期 日】 3月11日(土) 【集合場所】 広電廿日市市役所駅前
 【集合時間】 8時20分 【交通手段】 広電バス
 【参加費用】 バス代
 【行 程】 広電廿日市市役所前(8:30)…川末(8:54)…泉水峠(9:20)…玖島
 (10:30)…大峰登山口(12:00)…大峰山頂(14:00)…<谷のヤブ道?>…来栖
 根(16:00)…湯来温泉(17:00)=湯来温泉発(17:20か18:35)のバスで五日市
 駅南口まで(バス代:1000円)
 【地 図】 2万5千 湯来/津田
 【装 備】 雨具、地図、磁石、その他各自ハイキングに必要なもの。
 【リーダー】 【申込み先】
 【申込期限】 3月5日(日)
 【山行の呼びかけ】 歩行距離20km以上になります。湯来温泉にむけての最後の
 下りでは地図上の谷間の破線を来栖根に向かい標高差300m、距離1km がヤ
 ブの可能性。途中の公共交通は湯来温泉までありません。万一の場合は自宅・知人
 にヘルプして助けてもらいましょう、(^。^;)ノ

山行報告

新年初詣・初日の出登山の宮島

元旦は好天予報、弥山の混雑を避け絞り込んだポイントでの初日の出を期待して宮島登山を考えていました。

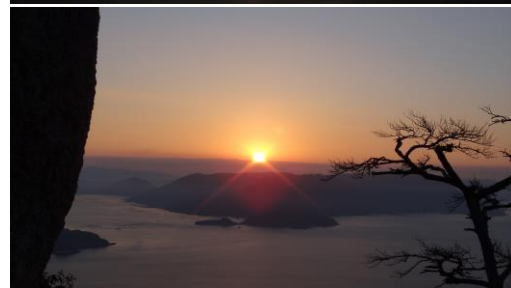
【コース・タイム】 自宅 1:30~2:45 宮島口~宮島栈橋~3:05 厳島神社~3:40 多宝塔~4:50 駒ヶ林~5:15 弥山~獅子岩駅~6:30 (407P) 7:30~7:55 大休峠~9:00 大砂利~9:35 入浜~10:25 砲台施設跡~11:00 包ヶ浦~12:00 宮島栈橋

大晦日、行く年来る年を見ながら平穩に年越し自宅を1:30頃出ました。宮島街道は交通量も多く、歩く側を通り抜ける車に多少交通事故の不安も感じながら宮島口へ。

JRの昨年11月に就航した新造船なうら丸に乗船。宮島へまだ時間も早い為か初詣客の混雑ももう少し後の時間だろう。

厳島神社では元旦0時から先着順で干支のしゃもじがもらえる。

今年1年の登山の安全と他祈願参拝し多宝塔へ。ここは下の明かりも先ほどの喧騒も届かないヘッドランプ装着し出発。真っ暗闇で静寂に包まれた径。以前ヘッドランプを飛ばしたことがあったので、ここでなくすと行動不能になりかねないなどと考えながらヘッドランプを引っ掛けたりしないよう気かけながら歩く。駒ヶ林から弥山に大聖院分岐からは初日の出を目指す登山者が目につきだす。弥山頂上では日の出まで時間ある為、まだ人も少ないがそれでも展望台、岩の上と場所取りをして待つ人。獅子岩駅に降りて休憩。ロープウェイでどんどん人があがって来る、休憩後、目指すポイント獅子岩駅と榎谷駅の間407P大岩のあるところだ。すでに1組の



先行パーティが宴会準備中。私も火を付け朝食準備。お正月なので朝からアルコールを頂きながら、ご来光を待つ。その間2~3パーティもあがって来る

しばらくして周りから歓声が上がりだす。江田島の山並みの上から真っ赤な太陽が静か



にゆっくり顔を出してくる。2017年初日の出に手を合わせ感動の余韻を残し以前より気になっていた砲台施設跡からの南尾根取り付きのため、榎谷駅から大休み峠。いくつか

ちなみに今年の私の抱負は「山行の自己管理能力を高めるための単独行体験」で経験を積みたと思っています。

の小さな徒渉を繰り返しながら大砂利へ。集落を隔てる獣除けフェンスの扉あけ、舗装路を入浜へ。目的の尾根近くに来るが取り付きがわからない。廃屋のある敷地フェンス横を上がってみる。どうやら目的の尾根に出たようだ。踏み跡もあまりなくヤブ漕ぎを強いられるが、距離はないので時間もそうかかることなく砲台施設跡に出る。後は西の砲台跡から包ヶ浦につながる北尾根を下るのだが、以前より腰上まで茂ったシダが覆いかぶさり、そのうえ夜露に濡れたシダをかき分けながら下るとズボンはびしょ濡れ（乾くのか不安）で包ヶ浦下山。砂浜でしばしの休憩後、疲れた足で宮島栈橋へ。すごい混雑になっていました。帰りは電車です。昨年、今年といい初日の出を見ることができました。

[▲目次](#)

新年山行★極楽寺山

【日時】2019年1月8日（日）天候：雨のち曇り

【参加者】

【コースタイム】宮内串戸駅 9:10→山陽道陸橋 10:00→極楽寺 11:20→管理棟横四阿屋（新年会）12:00～15:00→宮内串戸駅 17:25





例会山行は基本的に雨が降れば中止なのですが、山行当日があいにくの雨の予報であるにも関わらず、雨が早めに上がることを願い、屋根の下での宴会を頭の中に思い描き、リーダーは参加される皆さんに雨天決行の連絡をしました。『えー、雨なのに中止じゃないの』と言う皆さんの声を心の中で聞きながら、食坦でもあるリーダーは買い物を済ませ、野菜を切り、これでもう登るしかない。

山行当日 9:00 宮内串戸駅集合 ぱぁーと晴れた日のような笑顔はなく、『新年最初の山行は中止にしたい』というリーダーの気持ちを察したのか『新年登山じゃけー、少々の雨で登らんわけにはいかん』と言いながら、本音は『新年から誘いを断ったら、1年間何を言われるかわからん』というやや、投げやりな顔をして集まった8名が重い足取りで登山口へと歩き始める。

都合が悪くなり参加できなくなった女性陣と、一緒に山行が出来ると思い参加された水場さんの奥さんも、周りの人達が野郎ばかりで残念そう。

道中は景色も見れず、相変わらず雨は降り続け極楽寺境内へ到着、記念撮影をして宴会場へ。

中井さんが蛇の池の淵に、先日植え替えた桜の木を遠めから拝見し、四阿屋へ行くも先客があり、仕方なく管理棟横の四阿屋で宴会開始、でも、自分たち以外にこんな雨の中登ってきた物好き(山好き)がいてほっとした。

さあ、新年会の始まりです、ビールで乾杯と思いきや、『寒いケー、日本酒がええわ』と皆さんは日本酒をちびちび、リーダーはスノーハイクでも迷わずビールなのでビールをグイグイと、やはり体が冷えるなー。

皆さんから、焼き鳥や漬物、ホルモン焼きなどの料理をいただきました。

本日の食坦の料理は、餃子鍋です。人参、キノコ、キャベツ、油揚げ うーん あと何入れたか忘れましたがメはラーメンを入れてスープまで完食しました。お腹が一杯になり、持参したおむすびは持ち帰りになった。

やっと雨も上がり、下山を開始した頃には皆さんに笑顔が戻り、ほっとしました。

途中、見晴台からの眺めを楽しんだのち、無事に宮内串戸駅に到着しました。

来年も新年登山のリーダーをやります。来年は宮島です。山頂で雨を凌げる場所がないかなと思いますので、安心して下さい来年は雨が降れば中止しますから。

■食坦・記録■仲

北八ヶ岳のスノーハイキングを楽しむ

【日 時】2016年1月6日（金）～1月9日（月）

【参加者】

【コースタイム】6日（金）宮内串戸駅 21:30…山陽自動車…名神高速道…中央自動車道

7日（土）（5:45）諏訪湖SA（6:15）…（7:30）北八ヶ岳ロープウェイ（9:00）（9:10）北八ヶ岳ロープウェイ山頂駅（9:30）…（10:50）北横岳（11:20）…三ッ岳（12:15）…雨池山（13:10）…縞枯山荘（13:30）…雨池（15:00）…縞枯山荘（16:00）…（17:30）夕食…（20:30）就寝



北横岳 蓼科山をバックに 晴天バンザイ おいでヨ雪山に

山登り経験3年目の私には恒例になりつつある年初めの雪山八ヶ岳であります。

去年と一昨年は南八ヶ岳の赤岳でありましたが、今年は北八ヶ岳のスノーハイキングを楽しもうと思います。初めてのスノーハイキ

ングデビューであります、スノーシューはあのMSRを手にいざいざでございます。しかし天候が良すぎて、しかも雪が解けはじめておりスノーシューの出番が微妙ですが、もちろん持参いたします。





朝定食 トン汁定食 650 円



北八ヶ岳ロープウェイ山麓 ほとんど雪がない



朝定食 550 円



国籍不明の男女……

1月6日(金)宮内串戸駅21:30分 皆年始の挨拶を済ませて出発して、深夜の高速道路をひた走り1月7日(土)5:45分諏訪湖SAで朝食を取ることにいたします。

諏訪湖SAの朝定食とても美味しいですよ、おすすめです。

少し早めではありますが、北八ヶ岳ロープウェイ山麓にまいります。7:30着 そしてなんやかや準備しているうちに、朝一番9:00の発のロープウェイにのり10分弱でロープウェイ山頂駅坪庭です。スキーや・スノボ・雪山登山者がいりまじり、各々の方向に進んでいきます。

本日の気温-7℃ 天候 晴れ 坪庭10~20cmの積雪あり。

私の荷物は13kg+スノーシューそれもはじめてでありましたのでザックに括り付けると、右に傾き右肩が重い重いと一人呟きながら、アイゼン装備してゆっくとすすみま



賑わう坪庭

す。10:50北横岳山頂。360度視界良好やはり冬の雪山、今回も最高絶景です。山頂の色々な人が皆な笑顔です。そう心の底から自然な笑顔みんな素敵ですよ。この瞬間・場所があるから雪山最高。いつまでもいたい。がそろそろ下山いたします。

下山は私が先頭で二番目は吉岡さんで進んでまいります。前の別の二組のパーティとテンポを合わせて下山しておりましたが、途中で登って来た景色と違うことにきずき、後の3人とべつの道にいる事がわかる。そこに北



夢科山 お気に入りの一枚



縞枯山荘

横岳頂上付近ですれ違った二人組の美女が通りかかり、縞枯山荘までの道を尋ねると、目の前の岩場を登って降りたらすぐよとにこやかに返答するので、天候も良いので別れた3人と連絡をとり、縞枯山荘到着。予定時間も同じになる事を伝えておちあう事にする。しかしこの岩場（三ッ岳）天応アイゼンなみに体力を使う。さらに雨池山を登る事となり、結果私の体力不足で縞枯山荘には他の3人組より1時間遅れの13:30分到着となりました。その後、私以外の4人で雨池の往復をして16:00に戻り明日の行動予定を決めて17:30夕食（ハンバーグ）そして20:30就寝です。

[▲目次](#)

1月8日（日）



寒さや使い古しの布団も気にならず、すぐに眠りにつく。トイレに2度起きる。3階の広間から急な階段を下りて外へ行くのは面倒だ。真っ暗で風の音が響き、2200m^トの山の上、何かしら雪の精が闇に潜んでいても不思議ではない。

明朝7時過ぎ縞枯山荘を出発。どんよりと

した曇り空、やがて雪が降り出すだろう。縞枯山、茶臼山を越えて、麦草峠まで行く。氷点下少し、歩き出せば暑くてグローブや帽子を脱ぐ。積雪は少ないので、トレースはしっかりと絞まり、まるでボブスレーのコースのようだ。最後尾を歩き、コメツガー色の森に動物の痕跡を探す。兎の足跡は多い。テンやオコジョも隠れているだろう。雪の中でどんなに生きているのだろうか？ 8時40分縞枯山に着く。稜線から雪をかぶった天狗岳や迫って来る赤岳が展望できる。南アルプス、中央アルプス、御嶽、昨日楽しんだ山々が違った形で飛び込んでくる。風が冷たい。

9時15分平坦な茶臼山頂へ。凜としてそびえ立つ赤岳連峰が良い。麦草への下り、夏は苔むしてメルヘンチックな感じであろうが、

すべて雪の中だ。ヒュッテで大休憩を取る。俺は牛井を頼む。暖かいストーブの下で、しばしまったりとする。白駒池へ向かう。サルオコゼやフウリンゴケが神秘的であろう「苔の森」、シャクナゲが美しいであろう「白駒の奥庭」を経て、13時白駒池へ下りたつ。苔も木道も、水深の深い水面もすべて雪の下。大きな池で、湖畔に建つ山小屋（白駒山荘）も趣がある。5人で厚い氷の上を飛んだり跳ねたりして遊ぶ。氷に軽い亀裂が入る。

麦草に戻った頃から雪が舞い始める。やがて横殴りの雪に代わり、アウターを着込みゴーグルもつけ、トラバース気味の道（五辻経由）を通して縞枯山荘に戻る。寡黙に足早に歩く。弱い吹雪と薄暗で回りが良く見えず、八ヶ岳の厳しさを実感する。16時前に山荘に到着、今日は素泊まり。夕食に「山菜うどん」が注文する。これでも850円、食糧は担いで来るに限る。コタツの部屋で二次会。身体も温まり、アルコールも回っていい気分。一緒になった人達とも交流し、お姉さまと山談義に花が咲く。消灯の時間まで騒ぎ、スタッフに追い出されて各自部屋へ。外は深々と雪が降り続けている。

1月9日（月）

八ヶ岳最後の夜も静かに終わってしまう。早朝まだ真っ暗な時間から、準備をし始める。外廊下の自炊場で、振ったばかりの雪を溶かしてお湯を作り、コーンスープと行動食の朝食を独り食べる。20～30センチ新雪が積もる。寒い、まだ-8℃らしい。予定を変更して歩いて下山する。

明るくなってきた7時にワカンを履いて、小屋を後にする。雪は止んだが、膝下くらいの新雪で、道もトレースも消えている。スノーシューの二人は子供の様にはしゃいで楽しんでいる。ガラガラと歩く。悪天も回復して、



日が空けるにつれて青空ものぞく。南アルプス、中央アルプスの姿にお別れをする。9時半に全員無事下山。

帰りは雪道の運転、昨夜の山小屋の女子に聞いた「蓼科の共同浴場」は、まだ営業前で仕方なく、いつもの諏訪SA内の温泉で疲れ

を取る。あとは8時間ばかり、交代で長い長い道中を運転して帰路に着く。運転は速度を

落として慎重にしよう！

[▲目次](#)

ハケ岳 横岳西壁★石尊稜

【月 日】1月6日～8日

【参加者】

【コース】●1/6 宮島SA発 ●1/7 諏訪南IC…美濃戸口…赤岳鉱泉…石尊稜…地蔵尾根…行者小屋…中山乗越…赤石鉱泉(泊) ●1/8 赤石鉱泉…美濃戸口…玉宮温泉…諏訪IC…宮島SA着…各自宅付近



横岳西壁 中央が石尊稜

1月6日 午後8時過ぎに宮島SAを通過。

1月7日(快晴)夜の高速道路を4人で運転交代しつつ疾走。午前4時すぎ諏訪南ICを通過、ハケ岳への山麓の道におりた。予測通り一片の雪もなく、あっけなく美濃戸の駐車場に着いた。30分仮眠をして夜明け前の登山開始。

堰堤広場を過ぎても時折凍りついてはいるものの、雪はない。谷の斜面も落葉樹に透けた山肌ばかりで雪はほとんどない。横岳大同心が見え始めるころの標高になるとさすがに雪道だがそれでもまだ薄い。8時20分赤石鉱泉小屋に到着。アイスクライミング練習用の名物アイスキャンディーも小振りだった。個室を確保して登攀準備。

午前9時15分 行者小屋道への最初の橋から左に谷に入る。横岳西壁の偉容に向かっ

て谷間に踏み跡がつづく。三叉峰ルンゼとの分かれを過ぎ左のガレ場にとりつき、雪の斜面をフリーで登りきれば、石尊稜のガイドブック通りの1ピッチ目に到着。

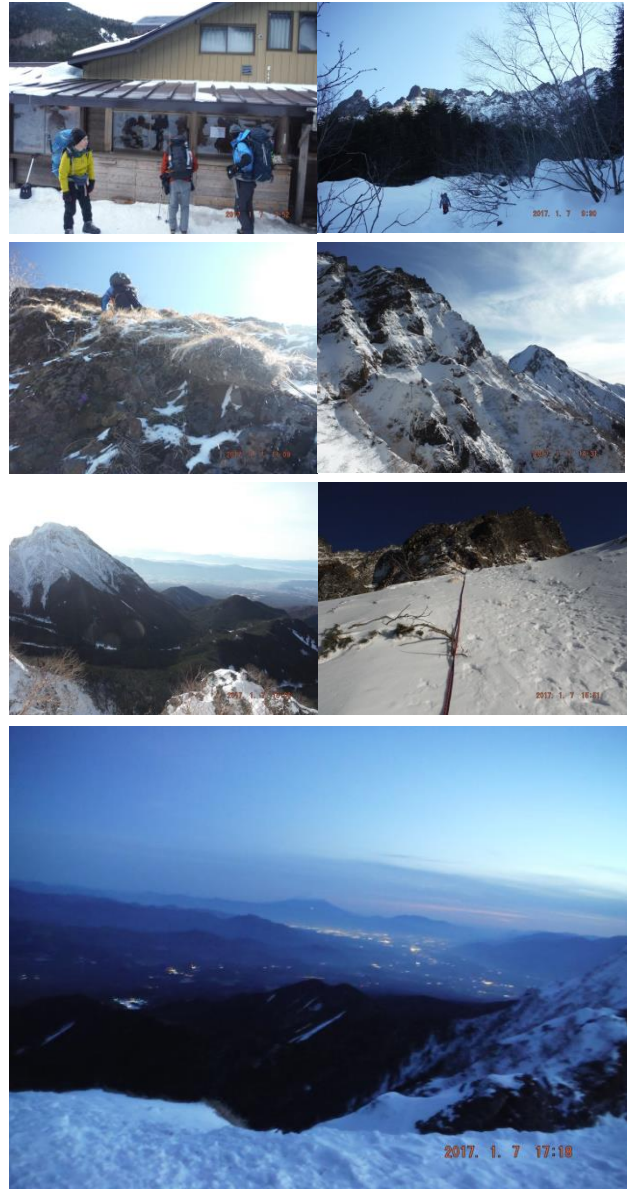
快晴・無風。雲ひとつない朝の青空を背景に白く・黒く・深く・陰影を刻んで威風堂々と頭上、横岳西壁を支える石尊稜や三叉峰などが正面に広がる。さて、草つきの斜面が柔らかくてやっかいな1ピッチ目。これを越えれば灌木の雪の斜面と雪稜が混じり、マルチピッチの「つるべ」でひたすら高度を上げる。我々以外に先行するパーティーのいない独り舞台。だがその割にすすみは遅い。上部岩壁を越え確保支点をとりセコンドのビレーに入ったとき、地平線を覆い始めた雲の群れの彼方に陽が沈み始めた。

石尊稜頂上午後5時18分到着。それまで飲まず・喰わずひたすら登り続け、先にたどり着いた安達・土屋パーティーがロープを収納してくれている合間に行動食のどら焼きを飲み込むように食べてひと息つく。

忘れたのではなく、はじめからヘッドランプを用意する心構えがなかった。深刻なミスだが、幸いにも半月の夜空にまだ星空が大きく広がり、雪明かりの岩稜の下りはなんとかできそうだ。鉾岳のトラバースで一時迷い、ビバークの話もでて、風の強さもはさほどでもないし、厳寒ほどでもない。何とかなるだろうと覚悟したところで、ようやく巻き道を発見して地蔵尾根を下りきることができた。

行者小屋から赤岳鉱泉へのなだらかな登りもきつい。しかし休まず山小屋に向かって歩く。夕食はあるだろうか？遭難騒ぎになっていないだろうか？午後7時45分赤石鉱泉小屋に到着。幸いにも小屋従業員にはねぎらいの言葉とともに夕食を用意していただきありがたかった。道中で明日の小同心クラック登攀の中止を決めた。天気も良いとは言えないし、何より中高年のパワー無さからくる疲労と意気消沈が主因だ。やけくそで？私ひとり高価なビール2本も飲んでしまった。

1月8日（曇）ノンビリ起きて、ノンビリ下って、温泉でノンビリ身体をいやして、諏訪ICから入った高速道路のSAで食事や土産物を買いながら、ノンビリ帰宅した。午後9時過ぎ宮島SAにて諸費用を精算してそれぞれの自宅へ送ってもらった。



石尊山頂から黄昏の富士山と山麓の街灯り

今回も反省点満載の山行、そして深く記憶に残る山行となった。

[▲目次](#)

連載

夢太流ダイエット術 vol:1

どうも★狐狸家 夢太★です。いつも、落語会ではお世話になっております。タカミーからまど用原稿の依頼がありましたので、筆不精の私がなんと連載に挑戦しようかなと思い、ダイエットを始めた頃から現在は山登りをしているきっかけまでを何回かに分けて投稿しますので、最後までお付き合いをお願いしたいと思います。

1月13日で56歳になりましたが、あとどれくらい生きることができるのだろうか？

12年前、44歳の健康診断で、体重が87.5kg、血糖値が少し高め。家に体重計がなかったために、ゴルフ場の浴室で乗る位、まさかの体重増加。このままだと三桁になるなと思ったこの時は、歩くのも億劫で、少し動けば汗びっしょりで、仕事もけっこうしんどかったな。このままでは、おそらく60歳まで保たない。下の子の成人式は見られるが、孫の顔は無理かな。数日後、通夜の席で、女房のいとこ（薬剤師）が叔母に糖尿病が引き起こす色んな病気の事をこんこんと話をしているのを、耳をダンボにして聞いていた。ヤバイ、俺のことだ。

書店で、『糖尿病とは』なる本を買ってきて、バランスの良い食事と運動で糖尿病は治ることが分かり、目の前が明るくなった。食事については、後で書きますが、歩くことから私のダイエットが始まりました。毎日、毎日歩くことでみるみるうちに痩せました。

1月に1〜2kg位、その年の夏頃、かなり体重が減ってきた時、取引先の所長から声をかけられ、健康のためにダイエットしている事を話すと、所長も40歳過ぎにダイエット経験がありロードレースに出たらと勧められ、その年の10月に10キロレースに挑戦しました。これが、私のランニング人生の始まりです。

当日は、会長と同じ宮園に住んでいたのもっぱら練習場所は宮園公園の400mトラックでした。10キロの目標タイムを50分に設定し練習していましたが、1キロ5分で走ると結果、10キロまで走ることが出来ない。

レース本番、もみのき森林公園のスキーゲレンデを下から上へ一気に駆け上がると頭が痛くなり、呼吸が苦しく立ち止まってしまう。横を何人も抜いていく、呼吸を整えなんとか走り終えゴール！ タイムは48分11秒で目標達成できました。

よし、今度はハーフマラソンに挑戦だ。

・・・次回へ続く

次回にダイエット前の写真を載せられたらと思っています。



第1回 泉水峠から大峰山を越えて湯来温泉に浸かる



泉水峠の廿日市側には少し石畳らしいものの痕跡があります。越えると味気ない舗装の道が玖島までつく。谷間からは大峰山はまだまだ遠く眺める。登山口までの舗装道路は長い。ちょうどこの日は登山口でお祭り（騒ぎ）それを見ながら遅い昼食。

大峰山頂までは脚が思うようにあがらず前途多難を感じさせた。ともかくブナ太郎に再会して山頂に到着。いつものように岩場から360°の展望だった。

南に下って林道の切れ目の峠から三角点（P878m 地点名：久峰山・四等三角点）を目指してヤブをあがってみた。山頂からは

2012年4月8日

【コースタイム】 西広島バイパス下通過(8:00)…泉水峠(9:35)…玖島(10:23)…川上登山口(11:10)…大峰山山頂(12:42)…大峰山南登山口(13:10)…P878m 鉄塔(13:45)…小多田集落(15:46)…湯来温泉(16:35)
(30.5km)

◆原通り石州道

平良地区の東側尾根筋を通り原地区の橋本で分岐し、長野道から七曲峠、山県郡筒賀村を経由して石州に至る山県越し石州道、川末道から泉水峠、吉和村を経由して石州に至る吉和村通り石州道があった。この道を偲べるものは橋本の分岐点にある辻地蔵と工事途中で中止された泉水峠手前にあるトンネル導入口の掘割石積みが残されている。（「交通の要地廿日市」より引用）

<http://www2u.biglobe.ne.jp/~n-fuji/sub48.htm>

刈り込まれた鉄塔の巡視路があり、楽々と再度車道へ下った。次の下降地点を探す。谷をかすかに縫って下る踏み跡があった。倒木・トゲトゲなどの荒れた部分が幾度もあり辟易だが、ほどなく小多田の集落に出た。

ひたすら車道を歩いて湯来温泉へ。自動車で瞬時に通り過ぎるだけの場所だが、歩くと景勝の滝・淵を見たり、堂々と車道を横断する猿の群れに出くわしたり、おもしろいコトも多い。

今年の春に少し距離を縮めてもう一度歩いてみようと思います。

【期日】3月11日（土）詳細は「山行案内」をご覧ください。

▲目次